

1. 社会環境学部「ビオトープ」活動～ 福工大構内の里山・ビオトープ活動は平成18年3月に産声を上げてから、13年目に入りました。その間、地域の皆様と学生達が可能な限り自然状態を維持・保全し、自然観察会などで交流し、大いなる自然の営みや恵みを楽しみながら交流の輪を広げています。

平成30年度のビオトープ活動は最初に、4月29日(日)第48回自然観察会を開催しました。テーマは、「春に身近で食べられる野草～味覚で春を感じよう！」という活動で、一般参加者20名、学生43名が楽しく交流しました。**次回は、7月7日(土)9:30～12:00に第49回(夏)自然観察会を開催します。**

(添付チラシ参照)是非、親子やグループ、個人などでご参加いただき、自然や虫とふれあい、五感を使って楽しく遊びましょう。また、10月13日(土)第50回(秋)、12月8日(土)第51回(冬)に里山・ビオトープ自然観察会を順次、開催します(開催案内は「坂井宏光研究室」HPで公開中)。



◇春の自然観察会風景(左、中央)と採取したヨモギを使ったホットケーキ

2. 新宮町「人丸公園ビオトープ」活動～ 地域環境連携活動の一環として、平成27年4月から新宮町の人丸公園ビオトープで生きもの調査や交流活動をしています。5月9日(水)に人丸公園ビオトープで新宮町職員2名と学生14名が自然観察しながら、生物の調査を行いました(写真a～c)。ノアザミの紅紫色の花が、特に美しく咲いていました。また、メダカやヌマエビなども観察できました。ビオトープを造成して2年経過し、従来からある雑木林や湿地とビオトープが徐々に調和し、動植物が遷移状態で、生物種も増えつつあるようです。



a. 人丸公園ビオトープ周辺の眺望 b. 水生の生物調査

c. 生き物観察